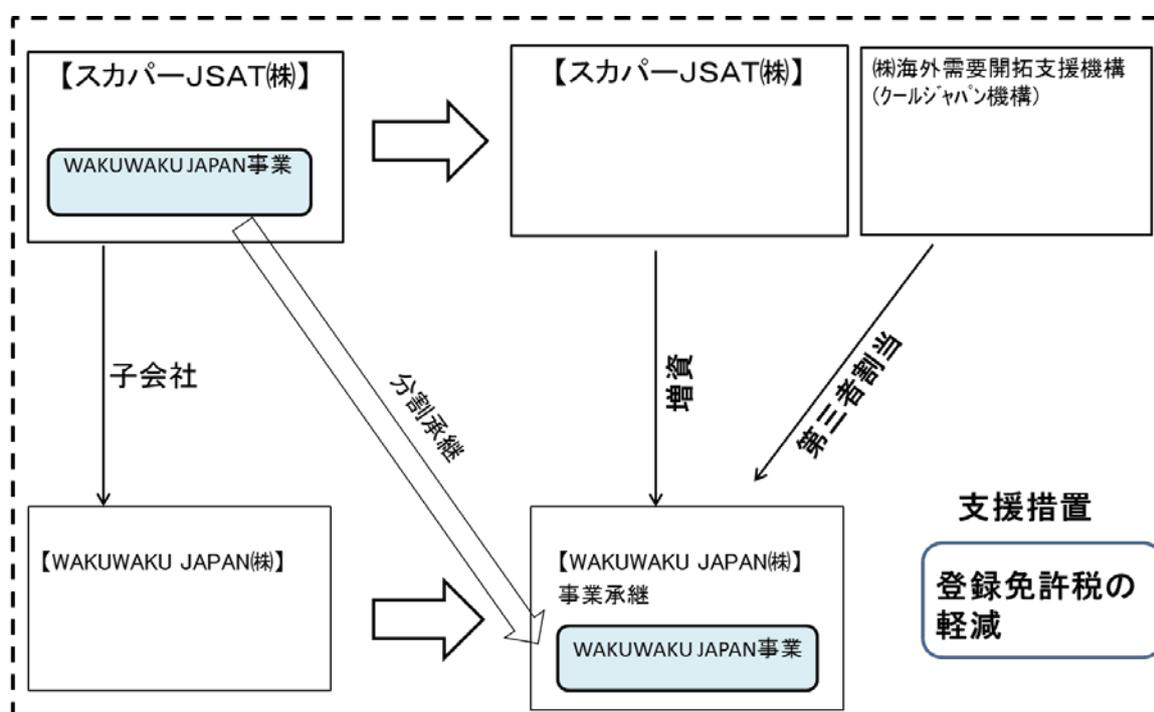


## WAKUWAKU JAPAN 株式会社の「事業再編計画」のポイント

スカパーJSAT株式会社（以下「スカパー」という）として行っている、海外向け日本コンテンツ専門チャンネル WAKUWAKU JAPAN 事業（以下「WAKUWAKU JAPAN 事業」）について、当該事業を専門に行う子会社 WAKUWAKU JAPAN 株式会社に事業承継するとともに、第三者割当増資を行い、スカパー、及び、株式会社海外需要開拓支援機構（以下「クールジャパン機構」という）から出資を受ける、という事業再編を行うもの。

スカパーの WAKUWAKU JAPAN 事業の優れた事業資質を活用するとともに、経営資源の最適化を図ることで、継続的な成長と事業価値の更なる向上を目指す。



## 【生産性の向上】

- ・平成 30 年度には、平成 28 年度に比べて、従業員 1 人当たり付加価値額の値を約 40% 向上することを目標とする。

## 【新商品の生産に係る構成の変化】

- ・事業再編しなければ実施できなかった WAKUWAKU JAPAN 事業の早期多国展開を実施し、平成 30 年度末までに現在の 3 ヶ国から世界 15 ヶ国に展開を拡大する。

## 【計画の実施期間】

- ・平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

## 様式第十八（第 13 条関係）

## 認定事業再編計画の内容の公表

## 1. 認定をした年月日

平成 27 年 7 月 6 日

## 2. 認定事業者名

WAKUWAKU JAPAN 株式会社

## 3. 認定事業再編計画の目標

## (1) 事業再編に係る事業の目標

スカパーJSAT グループ(以下「スカパーJSAT」)が事業を営む放送・通信分野においては、規制や市場環境の変化が激しく、また放送と通信の融合が様々な形で進んでおります。このような状況の下、スカパーJSAT ではこれらに対応する施策を実施することにより、有料多チャンネル事業の抜本的見直しと新規事業の開発、衛星通信サービスの付加価値向上に努め、引き続き収益の拡大に取り組んでいるところです。

新たな将来のコア事業として平成 26 年 2 月からスカパーJSAT 株式会社が開始した、海外向け日本コンテンツ専門チャンネル WAKUWAKU JAPAN 事業(以下「本事業」)は、従来、放送コンテンツの海外における販売形態としてあった、各個社による番組単体売りではなく、恒常的に日本のコンテンツを放送するチャンネルとして組成し、各国の言語にローカライズすることで効率的に放送コンテンツのエリア拡大をはかるものです。スカパーJSAT 株式会社は本事業を推進する子会社として、平成 27 年 5 月 1 日付けで WAKUWAKU JAPAN 株式会社(以下「当社」)を設立し、平成 27 年 7 月 1 日(予定)に簡易吸収分割方式によりスカパーJSAT 株式会社の 100%子会社である当社が本事業を譲り受けると共に、その後、第三者割当増資を行い、スカパーJSAT 株式会社及び株式会社海外需要開拓支援機構(以下「クールジャパン機構」)の出資を受ける予定です。本共同出資を通じて、①単独ではリスクが大きく実行が困難である大規模な資金の先行投資が可能、②クールジャパン戦略及びビジットジャパン戦略を推進する政府や国内企業等との連携強化による強固なオールジャパン体制の構築、及び③早期の多国展開を実現することで、事業展開の加速化・収益の更なる向上を推し進めてまいります。

具体的には、平成30年度末までに現在の3ヶ国（平成27年7月から3ヶ国目シンガポールでの放送開始予定）から世界15ヶ国に放送国を拡大、更には平成32年度末までに世界約22ヶ国まで展開することで、本事業を通して日本の魅力を世界各国に発信するとともに、国内企業の商材紹介による需要拡大や、地域活性化に資する訪日観光客の増加などに貢献することを目指しております。

以上の方策により、スカパーJSAT から譲り受ける本事業の経営資源を最適化し、継続的な成長と事業価値の更なる向上を目指す。

## (2) 生産性の向上を示す数値目標

生産性向上目標：平成28年3月末時点を基準として、平成30年3月末において従業員1人当たり付加価値額約40%以上の改善を目標とする。

財務内容の健全性：当社の親会社として実質的に経営を支配し、経営責任を担うスカパーJSAT連結ベースでの財務内容健全性向上を数値目標とし、平成30年3月末において有利子負債比率/キャッシュフロー=2.4倍以内、経常収入/経常支出=135%以上を目標とする。

## 4. 認定事業再編計画に係る事業再編の内容

### (1) 事業再編に係る事業の内容

#### ①計画の対象となる事業

海外向け日本コンテンツ専門チャンネル WAKUWAKU JAPAN 事業

<選定理由>

スカパーJSATは国内向けの有料多チャンネル事業とグローバルに展開する宇宙・衛星事業を行っておりますが、WAKUWAKU JAPAN 事業は将来のコア事業となる新規事業として立ち上げ、24時間海外現地語での日本コンテンツ専門チャンネルとして、これまでにない早期の収益ビジネスモデル確立が求められております。これらを実現するにあたり、クールジャパン戦略やビジットジャパン戦略に則った政府、関係団体、国内企業の動きと連携したオールジャパン体制での事業推進が必須であり、意思決定の迅速化、新たなスキル人材の獲得及び事業活動の一層の効率化を図る為、クールジャパン機構の公的なネットワークと資金も活用し、事業を専門会社化することで、収益体質の構築及び更なる企業価値の向上が可能と考えております。

#### ②実施する事業の構造の変更と分野又は方式の変更の内容

現在、WAKUWAKU JAPAN 事業は、スカパーJSATの担当部署である海外事業部が中心となって推進しておりますが、平成27年7月1日付け吸収分割によりスカパーJSAT株式会社の100%子会社である当社が譲り受けます。それにより意思決定の迅速化に加え、コンテンツの調達、翻訳・吹替等のローカライゼーション、番組編成・制作、営業等の連携を進めやすい体制の構築、また、本事業の推進に関与しているグループ会社の個別機能の集約により、本事業の効率化を図ることで、グループ全体の企業価値向上に取り組んでいきます。

また、同日付けで予定している第三者割当増資により、各国ごとの様々な事業リスクに備え、財務体質を強化するとともに、未開拓国への展開の加速化、チャンネル・プロモーションの強化、編成・番組調達の強化・多様化、ひいてはイベント・物販等の関連事業にも取り組んでまいります。現在、当社では平成27年7月1日付け組織再編及び第三社割当増資実行に向けた準備作業並びにリスクマネジメント及び経営管理体制等の構築を進めております。

なお、当該事業再編による生産性の向上は当該事業分野における市場構造に照らして、持続的なものと見込まれます。また、当該事業分野は過剰供給構造にはなく、さらに一般消費者及び関連事業者の利益を不当に害するおそれがあるものではございません。

<実施する事業の構造の変更>

- ・WAKUWAKU JAPAN 事業の承継（簡易吸収分割）

<分割会社>

名称：スカパーJSAT 株式会社

住所：東京都港区赤坂1丁目14番14号

代表者の氏名：代表取締役 執行役員社長 高田 真治

資本金：50,083 百万円

<承継会社>

名称：WAKUWAKU JAPAN 株式会社

住所：東京都港区赤坂1丁目7番1号

代表者の氏名：代表取締役社長 川西 将文

資本金：15 百万円

分割予定日：平成27年7月1日

- ・出資の受入れ（第三者割当増資）

WAKUWAKU JAPAN 株式会社は親会社である、スカパーJSAT 株式会社及び株式会社海外需要開拓支援機構を引受先とする第三者割当増資を実施する。

増資額：10,970 百万円（うち5,485 百万円を資本金へ組み入れ）

増資前の資本金：15 百万円

増資後の資本金：5,500 百万円

増資の方法：第三者割当増資

増資予定日：平成27年7月1日

(2) 事業再編を行う場所の住所

東京都港区赤坂1丁目7番1号

WAKUWAKU JAPAN 株式会社 本社

東京都港区赤坂1丁目14番14号

スカパーJSAT 株式会社 本社

(3) 関係事業者又は外国関係法人に関する事項

該当なし

(4) 事業再編を実施するための措置の内容

別表のとおり

5. 事業再編の開始時期及び終了時期

開始時期： 平成27年7月

終了時期： 平成30年3月

6. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

スカパーJSAT(株) 724名

WAKUWAKU JAPAN(株) 0名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

スカパーJSAT(株) 725名

WAKUWAKU JAPAN(株) 46名

(3) 事業再編中、新規に採用される従業員数

スカパーJSAT(株) 94名

WAKUWAKU JAPAN(株) 20名

(5) 事業再編に伴い出向する従業員数

スカパーJSAT(株) 12名

WAKUWAKU JAPAN(株) 0名

## 別表

## 事業再編の措置の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
法第2条第11項第1号の要件		
	<p>会社の分割</p> <p>&lt;分割会社&gt;            名称：スカパーJSAT株式会社            住所：東京都港区赤坂1丁目14番14号            代表者氏名：代表取締役執行役員社長 高田 真治            資本金：50,083百万円</p> <p>&lt;承継会社&gt;            名称：WAKUWAKU JAPAN 株式会社            住所：東京都港区赤坂1丁目7番1号            代表者氏名：代表取締役社長 川西 将文            資本金：15百万円            分割予定日：平成27年7月1日</p>	該当無し
出資の受入れ	<p>WAKUWAKU JAPAN株式会社は上記、WAKUWAKU JAPAN事業を承継した後にスカパーJSAT株式会社及び株式会社海外需要開拓支援機構を引受先とする第三者割当増資を実施する。</p> <p>① 増加前資本金：15百万円            ② 増資額：10,970百万円（うち5,485百万円を資本金へ組み入れ）            ③ 増資後の資本金：5,500百万円            ④ 増資の方法：第三者割当増資            ⑤ 増資予定日：平成27年7月1日</p>	租税特別措置法第80条第1項1号（認定事業再編計画等に基づき行う登記の税率の軽減）
法第2条第11項第2号の要件		
新商品の開発及び生産又は新たな役務の開発及び提供による生産若しくは販売に係る商品の構成又は提供に係る役務の構成の変化	<p>WAKUWAKU JAPAN事業は、従来、放送コンテンツの海外における販売形態としてあった、各個社による番組単体売りではなく、恒常的に日本のコンテンツを放送するチャンネルとして組成し、各国の言語にローカライズすることで効率的に放送コンテンツのエリア拡大をはかるものです。平成30年度末までに現在の3ヶ国（平成27年7月から3ヶ国目シンガポールでの放送開始予定）から世界15ヶ国に放送国を拡大、更には平成32年度末までに世界約22ヶ国までに展開を拡大する計画です。</p> <p>また、放送のみならず、周辺事業も展開し日本への観光誘致や地域産業の活性化に資するコンテンツと連携したプロモーション等も行いオールジャパンでの事業推進を図っていく予定です。</p>	
商品の新たな販売の方式の導入又は役務の新たな提供の方式の導入による商品の販売又は役務の提供の効率化		